

大綱 1「みんなで創る生きがいあふれるまちづくり」～「おうしゅうたろう」の活用状況について～（担当：未来羅針盤課）

「**みんなで育てるキャラクター**」として、令和6年5月10日にリリースしました。市でノベルティ等PR資材を作成し、市事業での活用のほか、使用取扱要領を定め市民団体・民間事業者等へ、イラストデータを無償で提供しています。

活用実績 合計**116件**だビン！
(R6.8月末時点)

★イラスト★

- ・各課事業等：62件（母親教室資料挿絵ほか）
- ・民間企業等：36件（シール、キーホルダー、ふせんほか）



Instagramで大人気だビン！
フォロワー R6.4月末1,893人⇒8月末**2,857人**
キャラリリース動画再生 **12,000回**突破



【主な活用方法】

- ①市HP、SNS、LINEでの情報発信
- ②バックパネル、ぬいぐるみ、クリアファイル、ステッカー制作。イベント等での活用、配布
- ③イラストデータ、ぬいぐるみの貸し出し

★ぬいぐるみ★

- ・各課事業等：12件（移住定住イベント、各種物産展ほか）
- ・各種団体等：6件（岩手県聴覚障害者福祉大会ほか）

【今後の展開】キャラクター自身の設定やエピソードについて、**奥州市の魅力と戦略的にリンク**させながら発信。さらなる情報の拡散や、企業等での新たな商品開発なども含めた利活用を進める。

大綱 2「未来を拓く人を育てる学びのまちづくり」～ICT支援員の配置について～

（担当：学校教育課）

令和6年7月10日にICT支援業務の外部委託契約を締結し、学校現場におけるICT利活用等の専門知識を持ったICT支援員が定期的に市内小・中学校を訪問支援する体制を構築しました。

2学期からICT支援員による訪問支援を開始しており、3時間を1回として各校平均で週1回の訪問支援を実施しております。

ICT支援員が訪問先の学校において、授業で利用する機器の準備・後片付けの支援、授業中の教員・児童生徒の機器操作支援、効果的なICT活用の提案等を行うことにより、教員の負担軽減及び授業等でのICT利活用の促進を図ります。



大綱 3 「健康で安心して暮らせるまちづくり」 ～産後ケアの拡充について～

安心して子どもを産み育てる環境づくりのため、令和 6 年度に産後ケア事業の拡充を行いました。（担当：健康増進課）

①市外等で利用した産後ケア事業の利用料助成（4月開始）

民間事業者や他市町村が実施する産後ケアを利用する際の利用料を助成することで、経済的不安なく里帰り先や市外等での産後ケア事業が利用ができるよう新たに助成制度を創設した。

○申請数（8月末現在） 6 件（日帰りケア 1 件、訪問 5 件）

②宿泊施設を利用した日帰りケアの実施（6月開始）

市内の宿泊施設を利用して、民間助産師（委託）及び市助産師が日帰りケア事業を実施することで受入れ枠を拡大するとともに、病院での利用に抵抗感がある方が利用しやすい環境づくりを行った。

○日帰りケア受入れ数（前年同期比較、水沢病院分含む） R 5.6 19件 → R6.6 34件
○宿泊施設利用数（8月末現在） 23件



大綱 4 「豊かさと魅力のあるまちづくり」 ～コメ輸出による新たな販路開拓について～

（担当：農政課）

奥州市産米の販路開拓を目的とし、JA江刺の協力を得て「ひとめぼれ 5 キロパック」1.2 トンをオーストラリアにテスト輸出・販売しております。現地では好評で、今回のテストを踏まえ、本格輸出に向けて条件を検証します。

1 販売状況

出荷日	出荷量	出荷先	販売方法	販売状況	販売価格（1袋 5 Kg）
4月30日	0.2トン (40袋)	シドニー	店頭販売	7月16日販売開始（8月中完売）	54.5ドル(約5,450円)
6月7日	1.0トン (200袋)	シドニー 680kg(136袋)	ネット販売	9月9日販売開始	50ドル（約5,000円）※
		メルボルン 160kg(32袋)		9月16日販売開始（残りわずか）	
		パース 160kg(32袋)		8月10日頃販売開始（8月中完売）	

※都市及びセール等により金額の変動あり (1 AUD = 100円で換算)

2 今後の予定 11月に職員とJA職員を現地に派遣し、市場調査及び日本食レストランへの販売促進活動を実施予定

大綱 5 「環境にやさしい安全・安心なまちづくり」 ～地球温暖化対策・再生可能エネルギー活用の推進について～ 9

生活環境課及び4月に市民環境部内に設置したGX推進室の主導により、以下のとおり地球温暖化に関連する施策を実施しました。

(担当：GX推進室)

○【7月】熱中症対策としてクーリングシェルの設置

※市内6カ所、56日間で、のべ412名の利用実績。

○【8月】「2050年二酸化炭素排出実質ゼロ」表明

※2050年、市内CO₂の人為的な排出量と森林等の除去量の均衡を目指します。

○【8月】アサヒ飲料(株)、(株)ミチノクと新たな協定を締結

※「CO₂を食べる自販機」の設置と熱中症対策に関する取組みを開始。

○【8月】市有林に係るJ-クレジットプロポーザル実施

※契約候補者と調整中です。

○【8月】市保有施設等に係る太陽光発電導入可能性調査開始

※調査結果について、次期環境基本計画等へ反映予定。



大綱 6 「快適な暮らしを支えるまちづくり」 ～水沢市街地の都市再生整備計画の作成について～

(担当：都市計画課)

未来羅針盤図や立地適正化計画に掲げる事業に対して国土交通省所管補助金の交付を受けるため、都市再生整備計画を作成しています。

